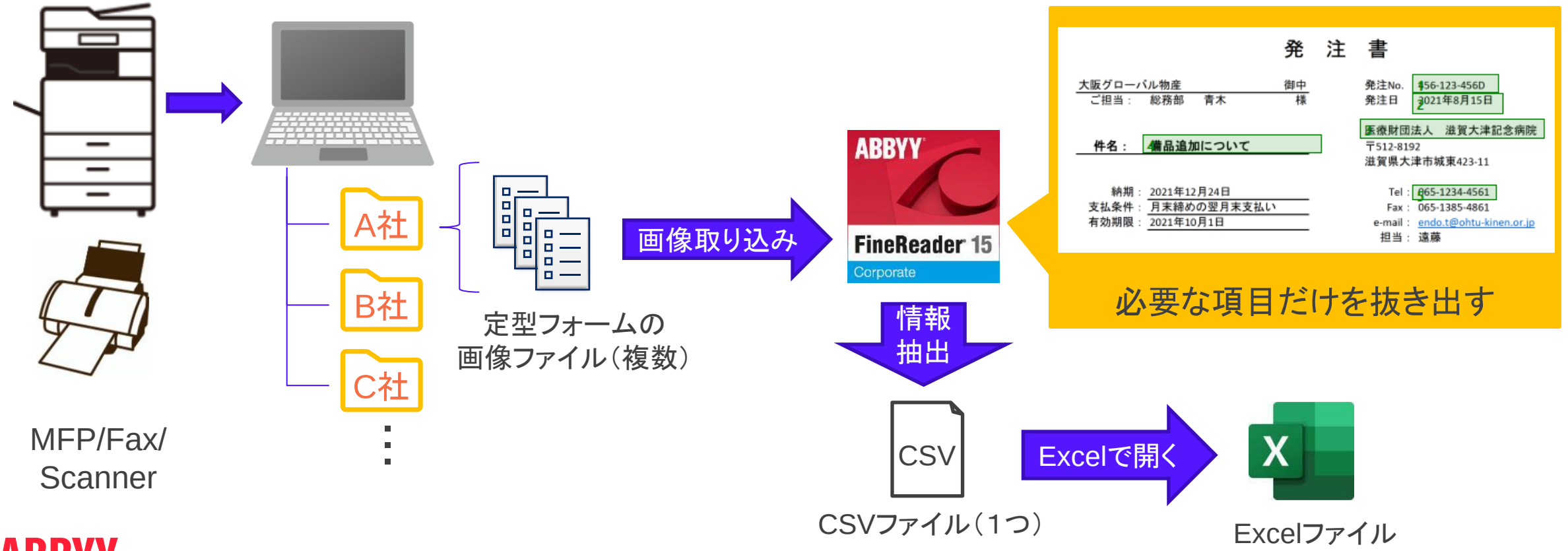
FineReader PDF 15
月次集計処理の自動化
設定手順書

ABBYY

月次集計処理の自動化

- 定型フォームの集計を自動化する
- DXの1st ステップの導入促進が期待できる



© ABBYY Confidential

使い方（目次）

1. ［事前準備］読み取る場所を設定する

   読み取るフォーマットごと（会社ごと）に、事前に読み取り領域を設定しておく

2. ［実行］複数の画像から必要な項目を抜き出す

   1. で作成しておいた設定を使って、複数の画像から必要な項目をExcelファイルにまとめる

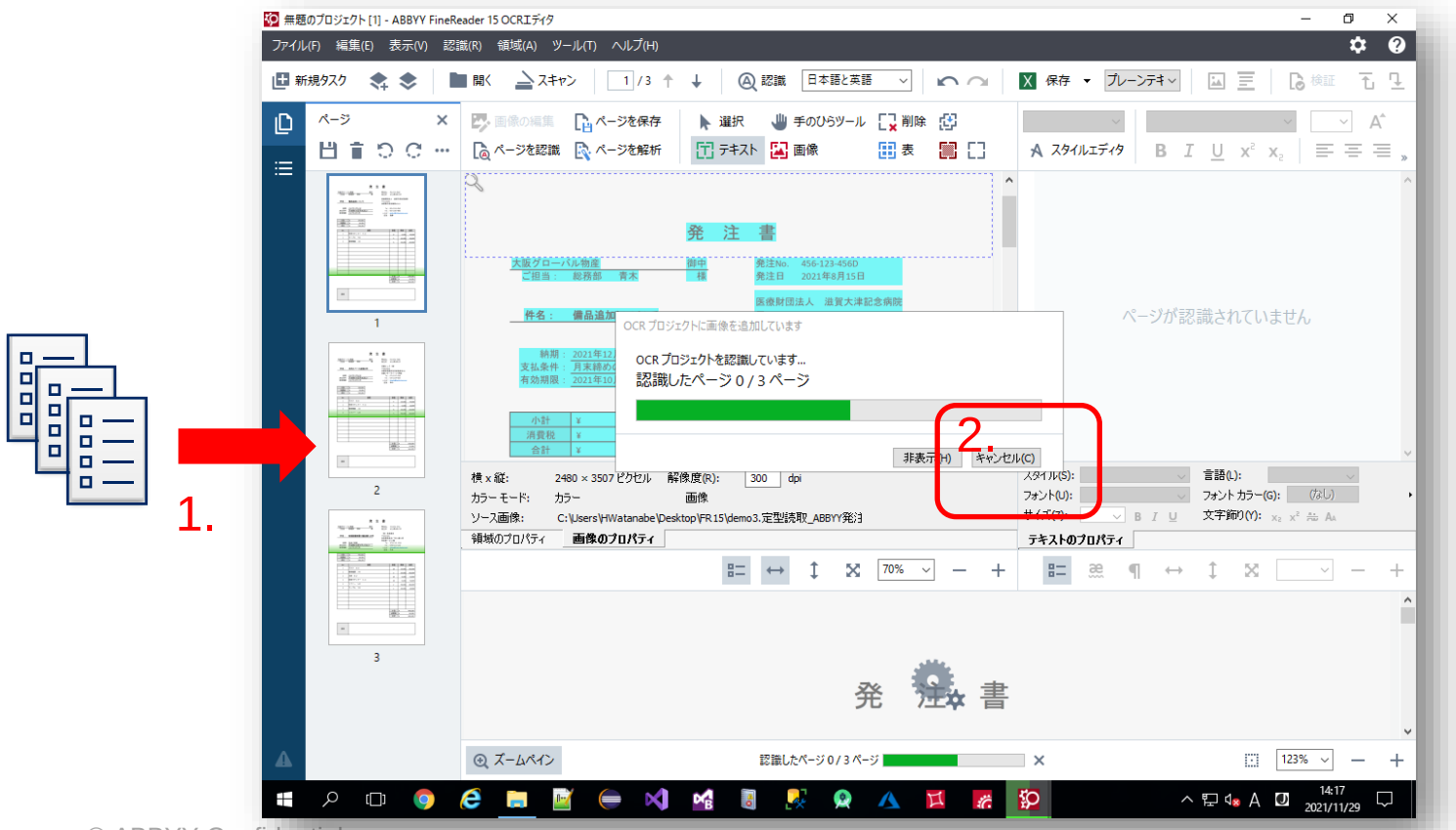
3. 効率化のヒント

ABBYY

© ABBYY Confidential

1.［事前準備］読み取る場所を設定する (1/4)

1. ABBYY FineReader 15 OCR エディタを開き、サンプル画像を数枚ドラッグ &ドロップする
   （PDFを編集するFR PDF 15ではなく、OCRエディタを開く。画面が似ているので注意）
2. すぐに全文OCRが始まるので、キャンセルする



© ABBYY Confidential

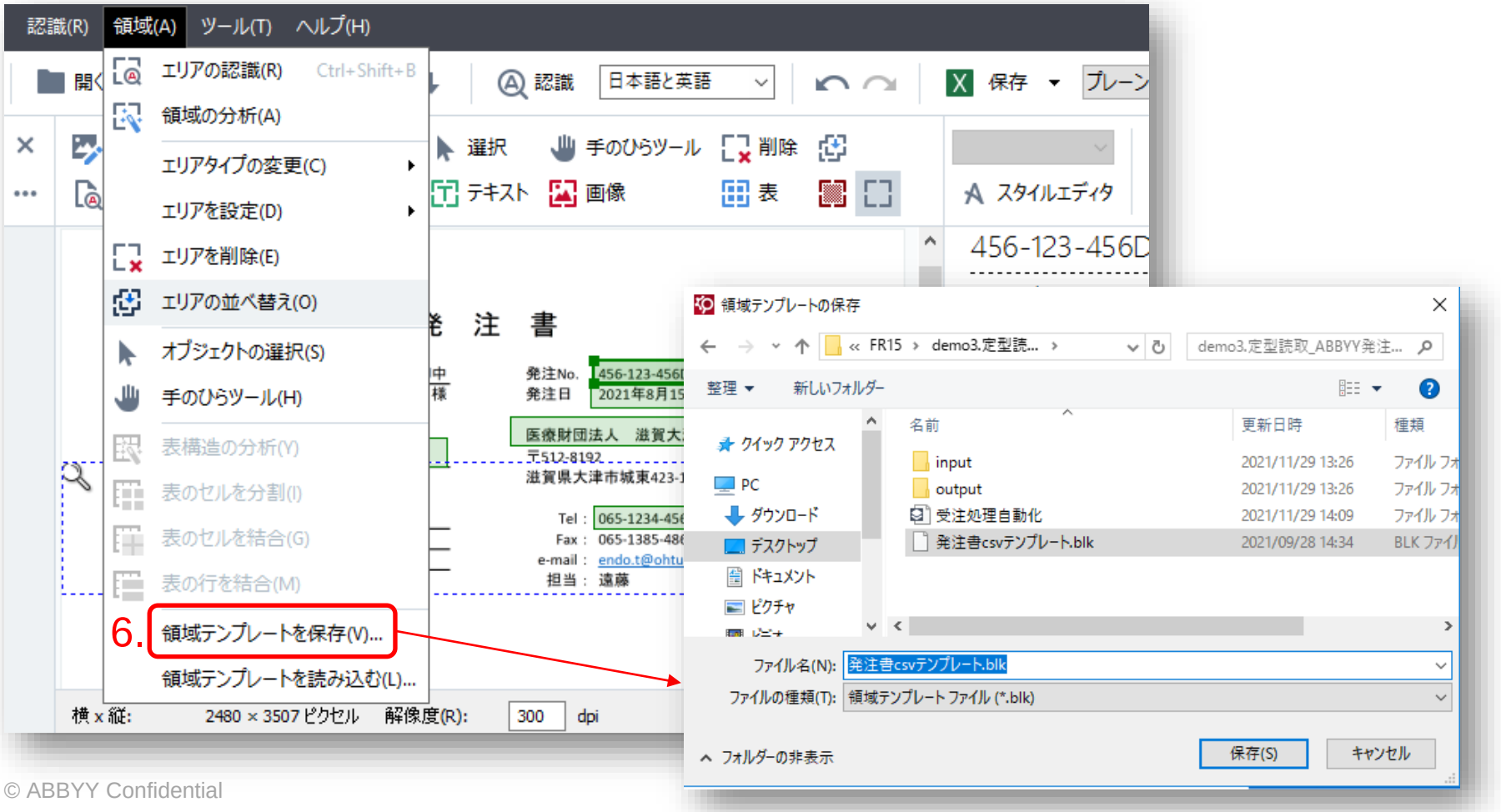
1. [事前準備] 読み取る場所を設定する (2/4)

3. 「テキストエリアの描画」ボタンを押し、読み取りたい場所を順にマウスで選択する
4. 認識言語を選び、CSV保存にして「認識」ボタンを押すと、右ペインに認識結果が表示される
5. 他のページの結果も確認して、座標を調整する （なるべく広めにして罫線は入れない）

© ABBYY Confidential

1. [事前準備] 読み取る場所を設定する (3/4)

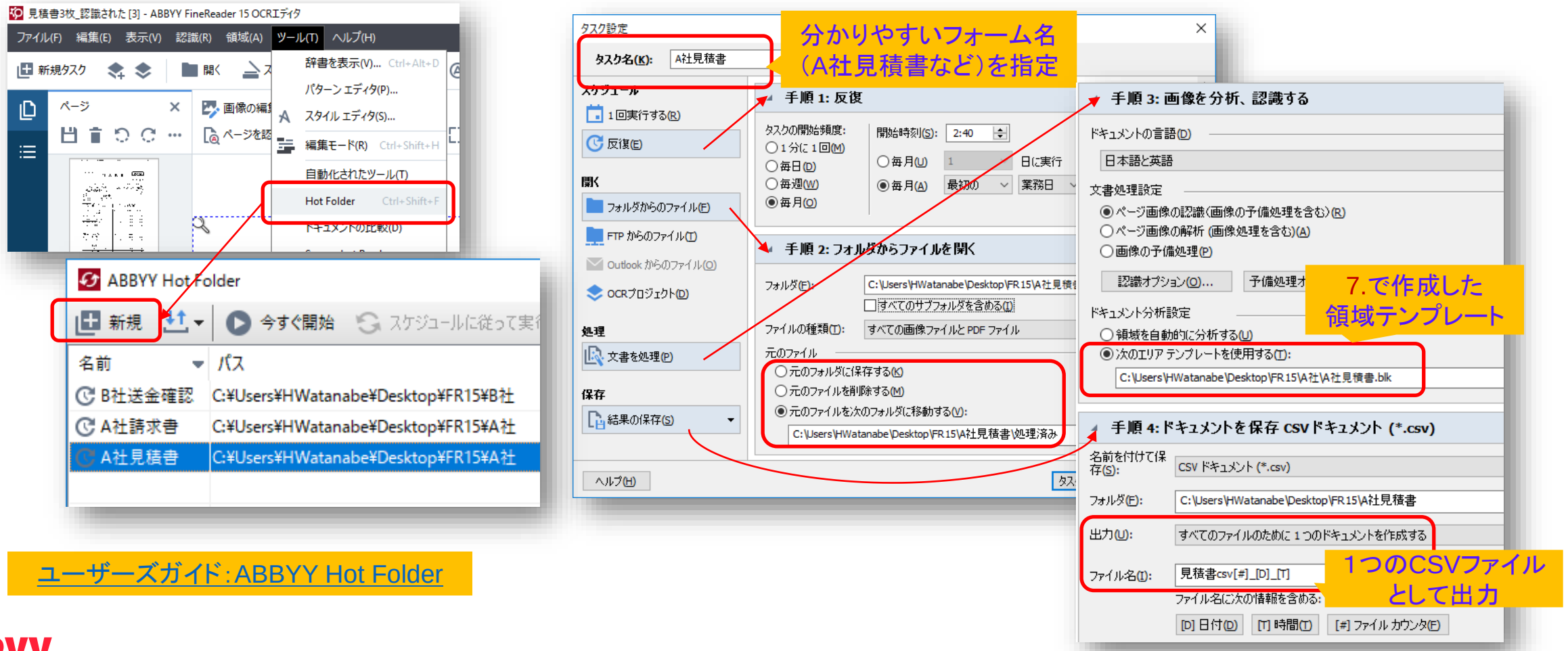
6. メニューの「領域」から「領域テンプレートを保存」を選択し、描画した領域情報を保存する
7. 1.から6.を繰り返し、領域テンプレートを読み取りたい定型フォームの数だけ作る



© ABBYY Confidential

1. [事前準備] 読み取る場所を設定する (4/4)

8. メニューの「ツール」から「Hot Folder」を選んで、各フォームの自動処理を作成する

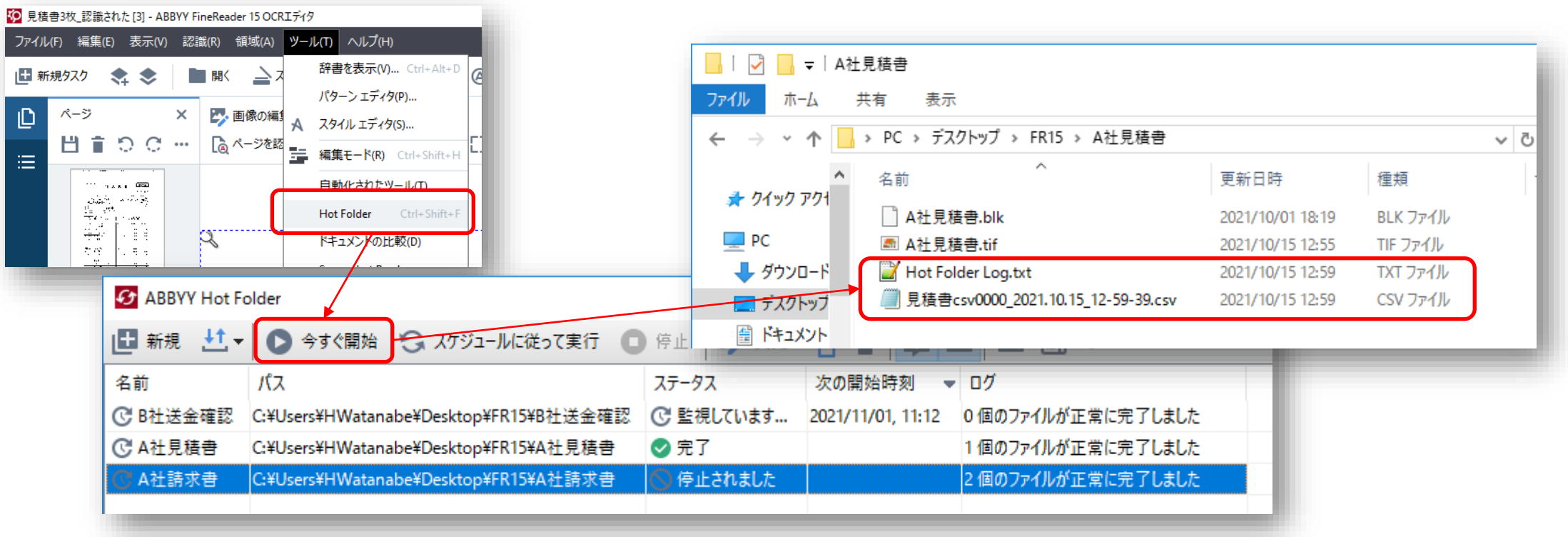


[ユーザーズガイド：ABBYY Hot Folder]

© ABBYY Confidential

2. [実行] 複数の画像から必要な項目を抜き出す (1/2)

1. OCRエディタの「ツール」メニューから「Hot Folder」を開き、実行したい処理を選んで「今すぐ開始」を実行する （既に決まった時間に実行するように設定してあれば不要）
2. 出力フォルダに、処理結果のログとCSVファイルが出力される

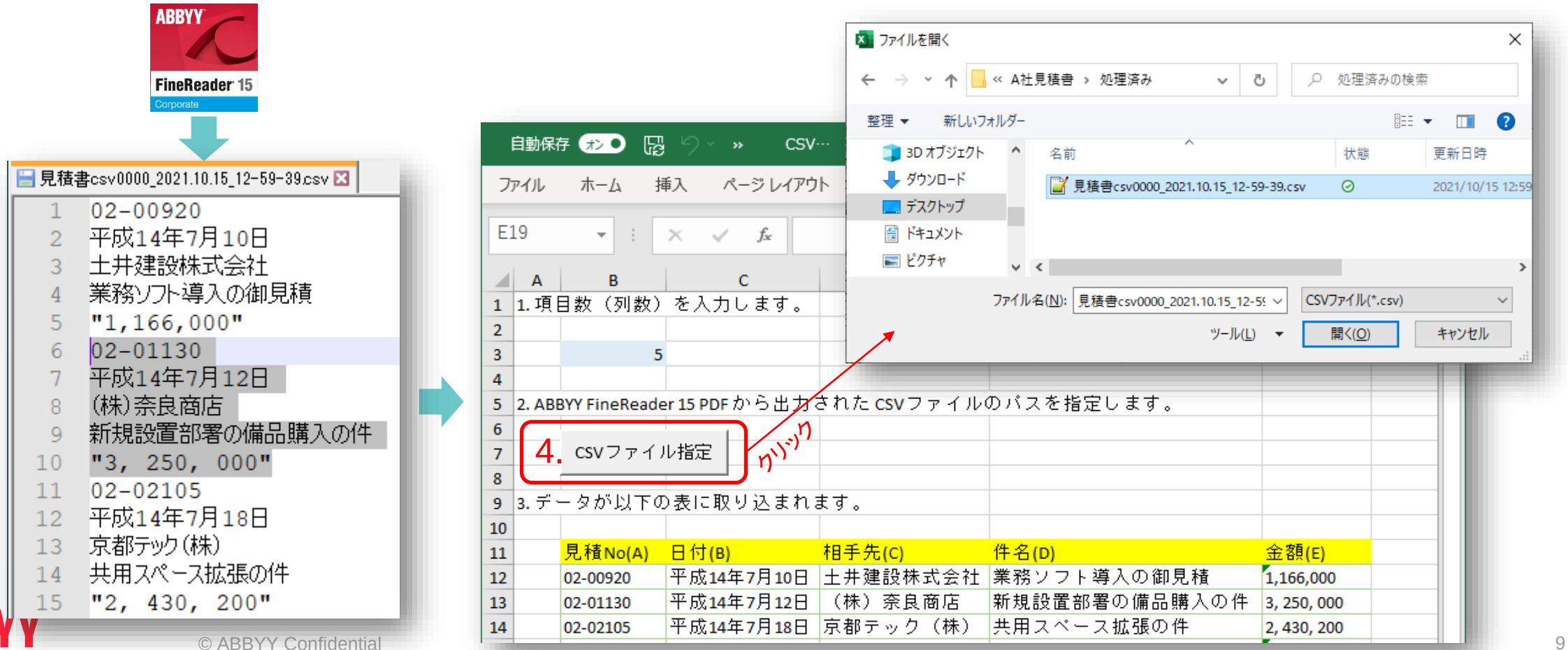


© ABBYY Confidential

2. [実行] 複数の画像から必要な項目を抜き出す (2/2)

CSV抽出.z

3. 添付ファイル「CSV抽出.xlsm」を開き、項目数（セルB3）とヘッダ（11行目）を設定する
4. 6. で作成したcsvファイルを指定すると、データがセルB12から順に取り込まれる

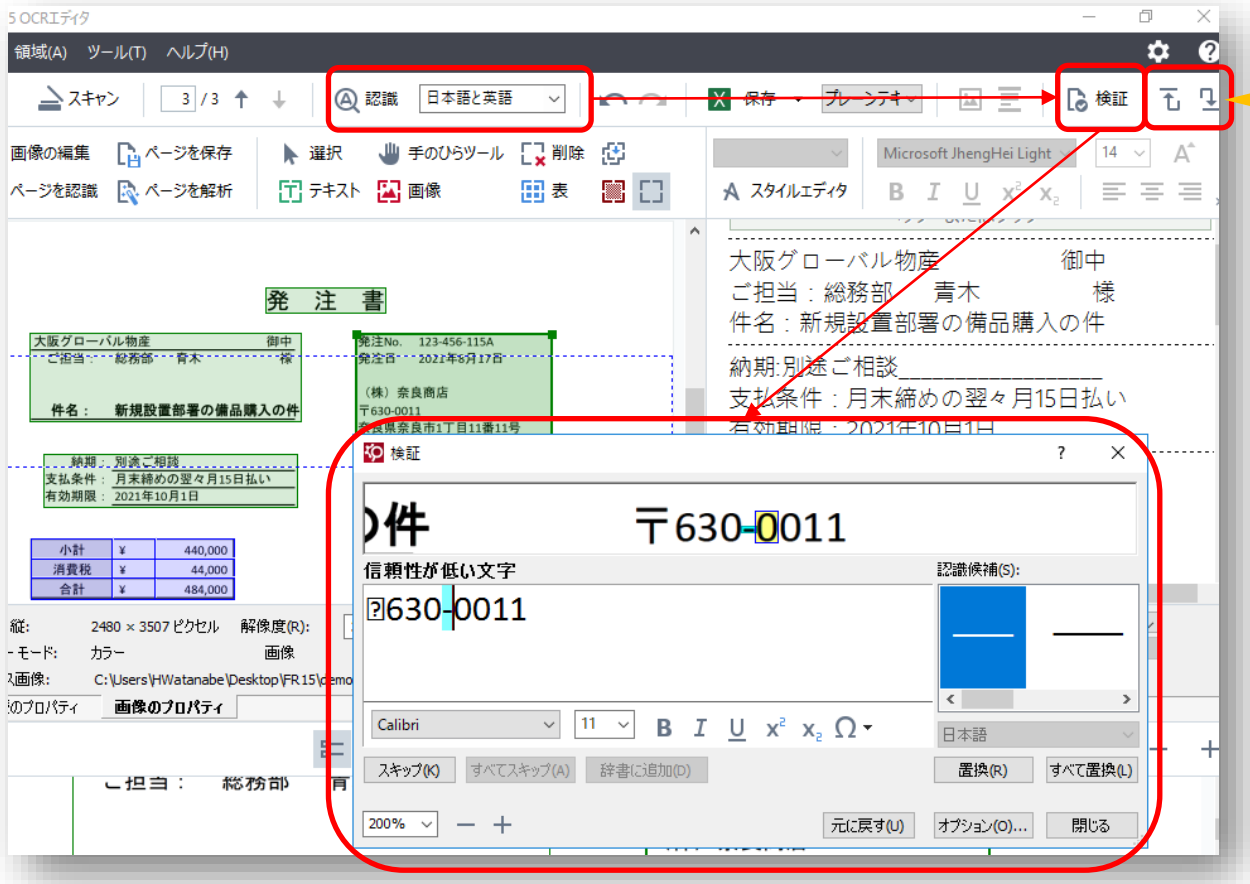


© ABBYY Confidential

3. 効率化のヒント (1/3)

1. 認識結果に誤りがあった場合は、OCRエディタで正しい結果を学習させることができる

   「認識」後に「検証」ボタンを押すと認識候補が表示されるので、正しい結果を選択しておく



信頼性が低い
単語の確認

ユーザーズガイド:
[検証]ダイアログボックスでの
認識済みテキストの確認

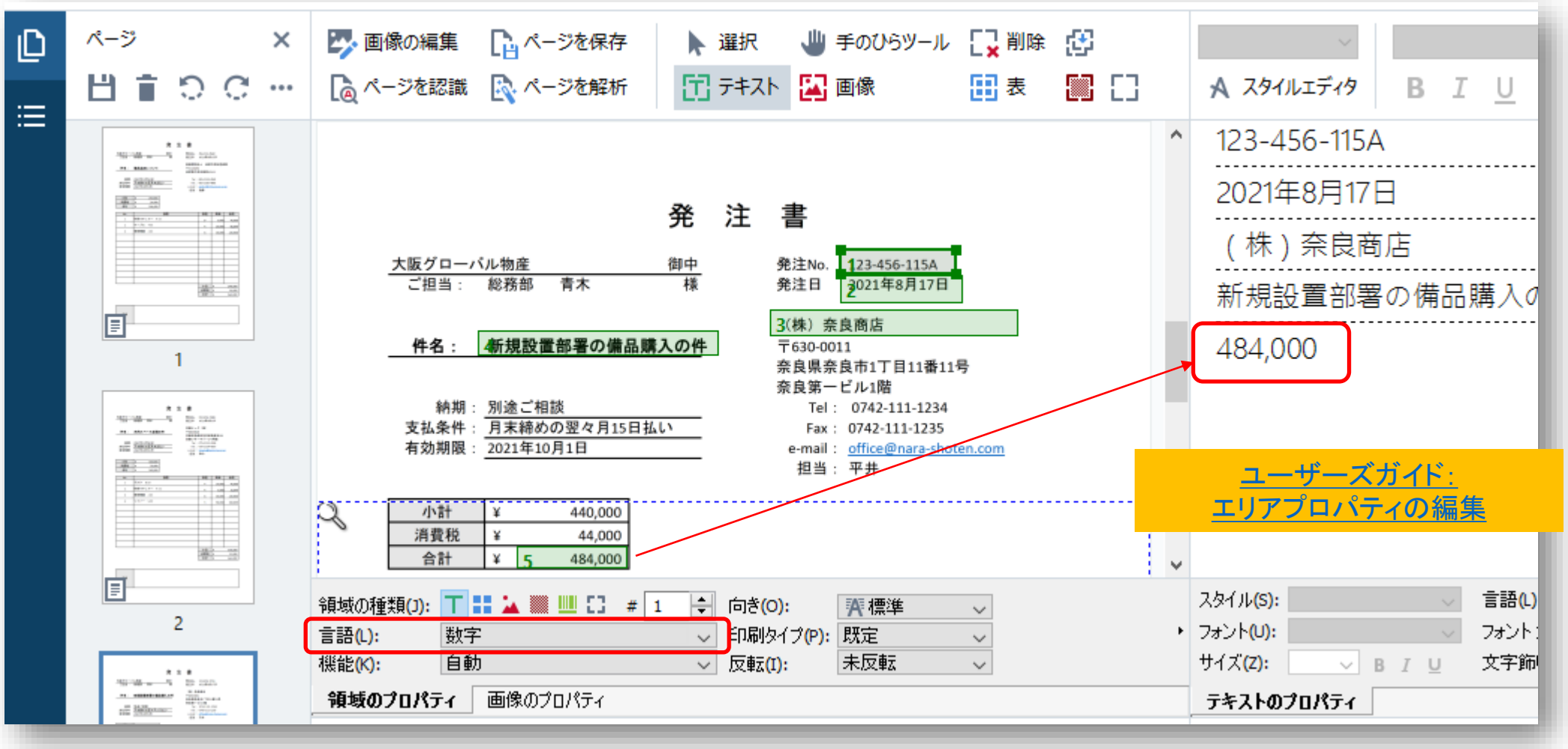
ユーザーズガイド:
OCRプロジェクトでの
グループ作業

ファンクションキー[F1]を押すと、
関連するユーザーズガイドが
ブラウザから開きます。

© ABBYY Confidential

3. 効率化のヒント (2/3)

2. テキストエリアの「言語」を指定することで、認識文字の制限をかけられる（数字など）



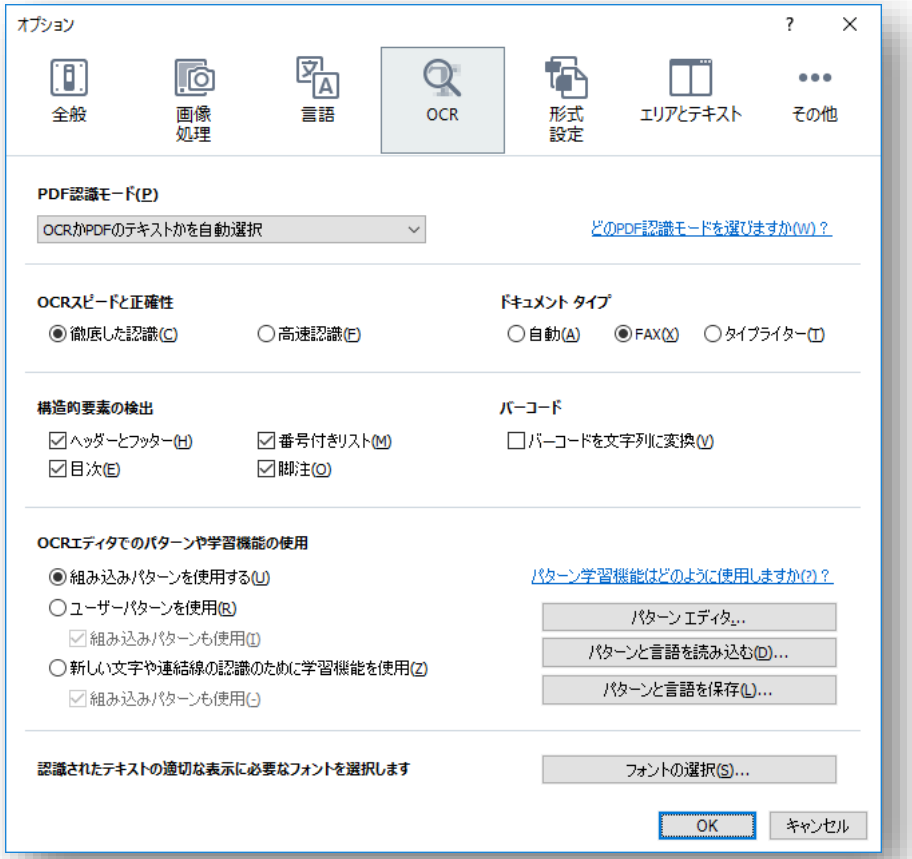
© ABBYY Confidential

3. 効率化のヒント (3/3)

3. 「ツール」メニューの「オプション」から、画像の状態に合わせて認識率を上げる調整が可能

（Hot Folder の手順3でも設定できる）

ユーザーズガイド：画像処理のオプション



ユーザーズガイド：OCRオプション

© ABBYY Confidential

Thank you

保証に関する免責事項

ここに含まれるすべての資料およびコンテンツは、「現状のまま」ならびに「利用可能な範囲」で提供され、保証を一切伴いません。ABBYYは、いかなる種類の保証も負いかねます。これには、明示的、黙示的、または制定法上の如何を問わず、正確性、商品性に対する保証や条件をはじめ、特定目的への適合性、欠陥やウイルスがないこと、権利の確保および不侵害に対する保証や条件、特定の結果に対する保証が含まれます。本サイトの資料は、お客様がご自身の判断と責任に基づいて利用するものとし、データの損失を含むお客様のコンピュータシステムへの損害については、お客様が単独で責任を負うものとします。
ABBYYは、お客様の本コンテンツの利用に関連した第三者の行為、不作為、振る舞いについて、一切の責任を負いません。本コンテンツの利用においては、お客様が全責任を負うものとします。本コンテンツにご満足いただけない場合、お客様のABBYYに対する唯一の措置は、本コンテンツの使用を中止することです。

責任の制限

どのような状況においても、ABBYYは間接的、結果的、懲罰的、偶発的な損害といった、いかなる種類の損害についても責任を負いかねます。これには、(i) 利用可能なソフトウェアのダウンロード、(ii) コンテンツ、サイト、サービス、またはソフトウェアの使用、(iii) ABBYYのサービス提供失敗に起因する利益または収益の損失や商品の交換費用、ならびに全損害が含まれますが、それに限定されるわけではありません。また、この免責事項は、そうした損害が契約上の行為、過失 、もしくはその他の不正行為で生じたものか否かに関わらず適用され、ABBYYが事前にそうした損害について通知を受けていた場合でも同様に適用されます。本規約の他の規定にかかわらず、お客様による本サイトまたはコンテンツの使用に起因する、または何らかの形でそれに関連し発生した損害または損失について、ABBYYがお客様に対して責任を負うことが妥当であるという判断がくだされた場合、ABBYYの賠償額はいかなる場合でも50米ドルを超えないものとします。責任の制限を認めていない管轄区域もあるため、上記の制限がお客様に適用されない場合があります。

コンテンツの利用

すべての文書、通信、ソフトウェア、スクリプト、写真、テキスト、ビデオ、ビジュアルインターフェース、グラフィック、商標、ロゴ、音楽、サウンド、画像、アートワーク、コンピュータコードおよびその他の素材（総称して「コンテンツ」）は、ABBYYによって、または ABBYYのために所有、管理、またはライセンス登録されており、知的財産権、競争法によって保護されています。また、ABBYYはこれらをサービスとしてお客様に対してのみ提供しており、その用途は個人的な使用に限定されます。本規約で明示的に規定されている場合を除き、お客様は、ABBYYの書面による事前の明示的な承諾なしに、本コンテンツのいかなる内容も使用することはできません。ベンチマーキングや競合目的での使用は、明示的に禁止されています。

商標

本コンテンツに掲載されている商標、ロゴ、およびサービスマーク（総称して「商標」）は、ABBYY、そのライセンサー、およびその他の第三者の所有物です。すべての商標は、あくまで参考情報として提供されており、お客様にその使用権は付与されていません。所有権および知的財産権はお客様に譲渡されません。第三者の商標および特許のリストは、こちら https://www.abbyy.com/legal/third-party/をご参照ください。

ABBYY